



講習内容：閉鎖空間の特定、関連する危険の認識、大気監視装置の使用、適切な換気、許可申請の手順、個人保護具、立ち入り手順、救助活動、OSHA 29 CFR 1910.146 に従った閉鎖空間立ち入りプログラムが組まれた講習

CONFINED SPACE ENTRY 講習概要:

【閉鎖空間入門】

- OSHA 基準に従った閉鎖空間の定義。
- さまざまな作業環境における潜在的な閉鎖空間の特定。
- 閉鎖空間に関連する一般的な危険（酸素欠乏、有毒ガス、可燃性蒸気、巻き込みなど）の認識

【大気モニタリング】

- 大気モニタリング機器の原理の理解。
- 酸素レベル、可燃性物質、有毒ガスのガス検知器の適切な使用。
- 測定値と警報レベルの解釈。

【許可が必要な閉鎖空間への立ち入り手順】

- 申請、承認、文書化を含む許可システムの要件。
- 閉鎖空間への立ち入り許可の必要性の特定。
- 立ち入り前の手順（大気モニタリング、換気、PPE の選択）。
- 立ち入り手順（バディ システム、コミュニケーション、立ち入り中のモニタリング）。

【換気技術】

- さまざまな種類の換気方法（自然換気、機械換気、強制換気）。
- 密閉空間の換気要件の計算。
- 換気装置の適切な配置と操作。

【個人用保護具(PPE)】

- 密閉空間の危険性に基づいて適切な PPE を選択。
- 呼吸器、ハーネス、落下防止用具、その他の関連機器の適切な装着と使用。

【救助手順】

- 潜在的な救助シナリオの認識。
- 救助チームメンバーの役割と責任。
- 救助機器と技術の適切な使用。

【密閉空間への立ち入りトレーニングとプログラムの開発】

- 包括的な密閉空間への立ち入りプログラムの開発。
- 密閉空間への立ち入りに携わる作業員のトレーニング要件。
- 文書化と記録保持手順。

【実践演習】

- 大気監視装置を使用した実践的な練習。
- 適切な手順による密閉空間への立ち入りシナリオのシミュレーション。
- 許可証の完了と確認。